

特集にあたって

藤田直孝

一般外来に限らず救急外来でも消化器疾患を診る機会が多いものです。特に救急では、さまざまな消化器症状を訴える患者に対する確な診断・治療を迅速に行わなければ、患者の容態は悪化し生命の危険にさらされるというようなことも起こってしまいます。一方で、医療面接や身体所見の取得にあたって、種々の制約下で診療を進めなければならないという場面も出てきます。加えて、愁訴としては消化器症状を訴えながら、実は他領域の疾患であるということもよく経験されます。このようなことから、「消化器症状を訴える患者の救急対応は難しい」という声が診療の現場からよく聞かれます。

そこで今回、消化器症状を呈し救急対応が必要な病態を中心にこれらに適切に対応するための、「消化器症状への救急対応」と題した特集を企画しました。消化器症状の代表的な事例かつ特に緊急性の高い場合が多い症状として、消化管出血、急性腹症、誤飲・誤嚥、黄疸を取り上げ、第一線で診療や後進の指導に携わっておいでの気鋭の先生方に執筆をお願いしました。構成面では写真やイラストを多数用いてこれらの診断、治療、その方針の立て方が理解しやすいように工夫をいただいています。

本書は主に消化器内科の後期研修医や内科後期研修医、一般内科医、開業医など、消化器疾患の診療に携わる機会をもつ先生方が、救急外来で対応できるもしくは適切な搬送の判断を行う一助になるべく構成されています。本書を通読し基本を押さえ、さらに、緊急対応が必要になった場合には直接該当項目にあたり、確認を行っていただくことで、質の高い「消化器症状への救急対応」が可能になると確信しています。

最後に、御多忙のなか、細かい注文にも応えていただき貴重な論文を寄稿いただいた先生方に、そして羊土社の関係各位に尽力賜り無事発刊にこぎつけたことをここに記し、感謝の意を表します。

Profile

藤田直孝 (Naotaka Fujita)

仙台市医療センター仙台オープン病院 消化器内科

仙台市医療センター仙台オープン病院副院長、消化器内科主任部長。1979年、東北大学医学部卒業。日本消化器内視鏡学会理事、同学会誌編集委員長、日本消化器病学会財団評議員、日本胆道学会監事、ほか。